

函館市観光基本計画に係る基本方針 3・4 の目標値設定について **大学生追加**

## (1) 基本方針 3-1 函館観光に関する取組みに「参加する」市民の増加

観光ボランティアや、情報発信、困っている観光客への声掛けなど、函館観光に関する様々な取組みに対して「参加している」と回答する市民の割合を増加させる。

## ① 観光に関わる市民の増加

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
16.4%	市民アンケート設問 9 「日ごろから観光客と接する機会がありますか」 (【資料 2-1】 P3) で「観光客と直接関わる仕事をしている」「観光客と間接的に関わる仕事をしている」「ボランティア活動で関わっている」と回答した割合の合計	《案 1》 増加	2024 年度の数値から向上
		《案 2》 23.1%	市民アンケート設問 10 「函館を訪れる観光客とどの程度関わりを持ちたいですか」 (【資料 2-1】 P4) に「観光に関わる仕事を通じて関わりを持ちたい」「観光に関わるボランティア活動やイベント等を通じて関わりを持ちたい」と回答した割合の合計 13.3%の半数が基準値から増加

## ② 情報発信への参加率

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
21.7%	市民アンケート設問 11 「函館の観光地や函館で開催されたイベントを SNS やロコミ等で情報発信したことがありますか」 (【資料 2-1】 P5) で「日常的に発信している」または「1～2回発信したことがある」と回答した割合	《案 1》 増加	2024 年度の数値から向上
		《案 2》 33.0%	市民アンケート設問 11 で「発信してみたい」と回答した 22.5%の半数が「日常的に発信している」または「1～2回発信したことがある」に転換

(2) 基本方針 3-2 家族や友人、知人に函館観光を「ぜひ勧めたい」と考える  
観光客の増加

身近な人から、「函館に行って良かった」「あなたもぜひ函館に行ってみてほしい」という話を聞くことは、これから函館観光を検討している潜在的な観光客を強く後押しする要素となるため、こうした情報を発信してくれる観光客を増加させる。

① 推奨度（国内観光客）

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
81.4%	観光動向調査アンケート設問 20「函館市の観光を友人に勧めたいと思いますか。まったく勧めたくない場合は0点、五分五分で判断に迷う場合は5点、ぜひ勧めたい場合を10点で表すとした場合、何点ですか。」（【資料1】P64 函館観光の推奨度）で「10点、9点、8点」と回答した割合	増加	2024年度の数值から向上

② 推奨度（海外観光客）

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
80.5%	観光動向調査アンケート設問 21「函館市の観光を友人に勧めたいと思いますか。まったく勧めたくない場合は0点、五分五分で判断に迷う場合は5点、ぜひ勧めたい場合を10点で表すとした場合、何点ですか。」（【資料1】P122 函館観光の推奨度）で「10点、9点、8点」と回答した割合	増加	2024年度の数值から向上

(3) 基本方針 4 観光への理解度の向上

函館経済における観光の重要性を広く市民に知っていただくことは極めて重要であり、観光の重要性に対する市民理解の向上を目指し、目標値を設定する。

① 理解度

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
90.1%	市民アンケート設問 14-①「函館を訪れる人が増えることで、まちが活性化する」(【資料 2-1】P6) に「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した割合	増加	2024 年の数値から向上

② 推奨度

基準値 (2024)	算出方法	目標値 (2028)	目標値設定の考え方
61.9%	市民アンケート設問 17「あなたは函館観光を市外の友人・知人に薦めたいと思いますか」(【資料 2-1】P7) で 10 点, 9 点, 8 点と回答した割合	増加	2024 年度の数値から向上※ 1

※ 1 : 金沢市「金沢市の観光に関するアンケート調査報告書 (令和 5 (2023) 年度)」では、同様の設問での割合は 48.9% (10 点 : 17%, 9 点 : 8.2%, 8 点 : 23.7%)